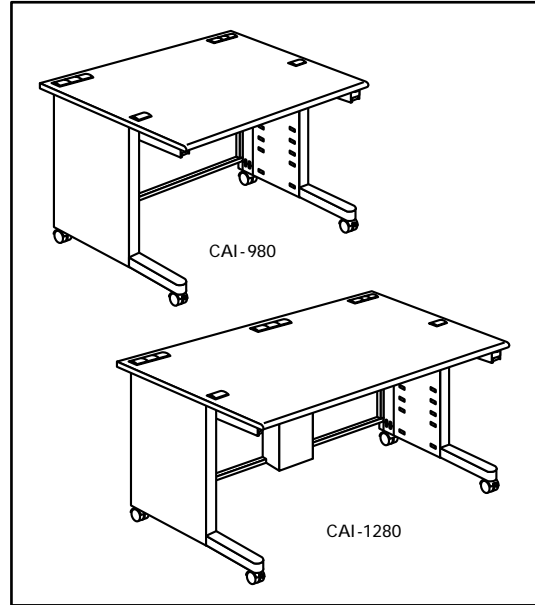


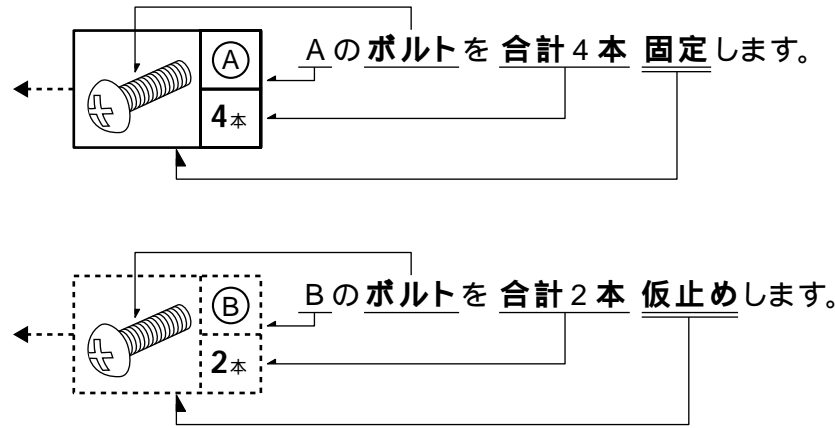
# CAIデスク 取扱い及び組立説明書

CAI-680 CAI-1280  
CAI-780 CAI-1480  
CAI-880 CAI-1680  
CAI-980 CAI-1880

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を組み立てる前に、必ず「組立使用上の注意」をご覧ください、正しく組立、ご使用されますようお願い致します。



## 組立図使用マーク一覧



- 付属工具を使っでの組立があります。
- 2人以上で作業を行ってください。
- 左右共通の部材を使用します。
- 右用と左用とで部材の形状が異なります。組立の際に取付け間違いのないようご注意ください。

## 組立・使用上の注意

- 注意マーク**.....この表示の欄は「軽傷を負う又は、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意ください。
- 警告マーク**.....この表示の欄は「死亡又は、重傷などを負う可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意ください。
- 必ず軍手や手袋などで手を保護してから組立を行ってください。
- 組立の際は手や指を挟まないように注意しストーブや、コンロなど火気のある場所での組立は絶対に避けて下さい。
- 組立手順に従って指定された位置のボルトは確実に止め、組み立てて下さい。ネジが緩いと危険です。
- 組立時は床などを傷つけないよう十分ご注意ください。
- テーブルや棚の上に立つと危険です。絶対に上に乗らないで下さい。
- ストーブやコンロなど、火気のある場所ではそれらの器具から十分に離れた場所でお使い下さい。
- 必ず屋内で使用し、水のかかる場所や直射日光のあたる場所での使用は避けて下さい。
- 使用中に組み付けたボルトが緩んできた場合は再度、組立手順にもとづき、増締めを行ってください。(その際、天板・棚板等に載せているすべての機器を取り外して行って下さい。)
- ベンジン・酸・熱湯・シンナー・ミガキ粉・石油などのお手入れは避けて下さい。必ず強く絞ったぞうきんなどで、拭くなどして下さい。
- コンセント付きのものは容量を超えて使用しないで下さい。感電や火災の原因となります。

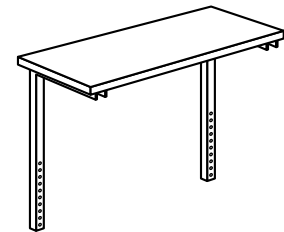
## 部品一覧表

組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認下さい。

梱包品番	部材外観	品名 数量	梱包品番	部材外観	品名 数量
B 		支柱(右)  1本	A 	 CAI-1280-1480 1680-1880用  CAI-680-780 880-980用	天板  1枚
B 		支柱(左)  1本	C   A		ボルト (M6×12)  4本
C 	 CAI-1280-1480-1680-1880用  CAI-680-780-880-980用	バックパネル  1枚	C   B		ボルト (M6×20)  2本

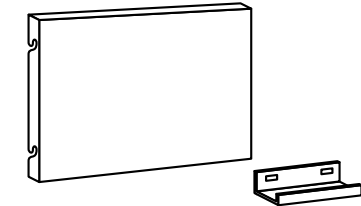
## CAIシリーズオプション

本製品には下記のオプションを取り付けることができます。詳しくは弊社カタログをご覧ください。



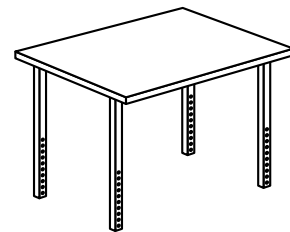
### オーバートップデスク TXシリーズ(D=400)

・CAI-680～CAI-1880用まですべてラインナップ  
・奥行き400mmで、小型レーザープリンタや机上の小物の整理に便利です。



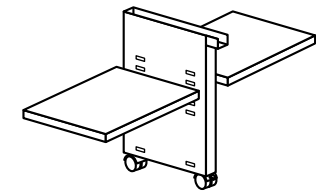
### メンテナンスパネル Pシリーズ

・CAI-680～CAI-1880用まですべてラインナップ  
・コードフック付で配線処理に便利です。



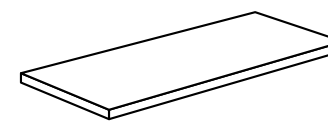
### オーバートップデスク TXシリーズ(D=500)

・CAI-680～CAI-1880用まですべてラインナップ  
・奥行き500mmで、レーザープリンタ等の配置も可能です。



### センター支柱・棚セット CFシリーズ

・CAI-1280～CAI-1880用までラインナップ  
Cシリーズとの同時使用は出来ません。



### 下段棚 Cシリーズ

・CAI-680～CAI-1880用まですべてラインナップ  
CFシリーズとの同時使用は出来ません。

# 組立説明

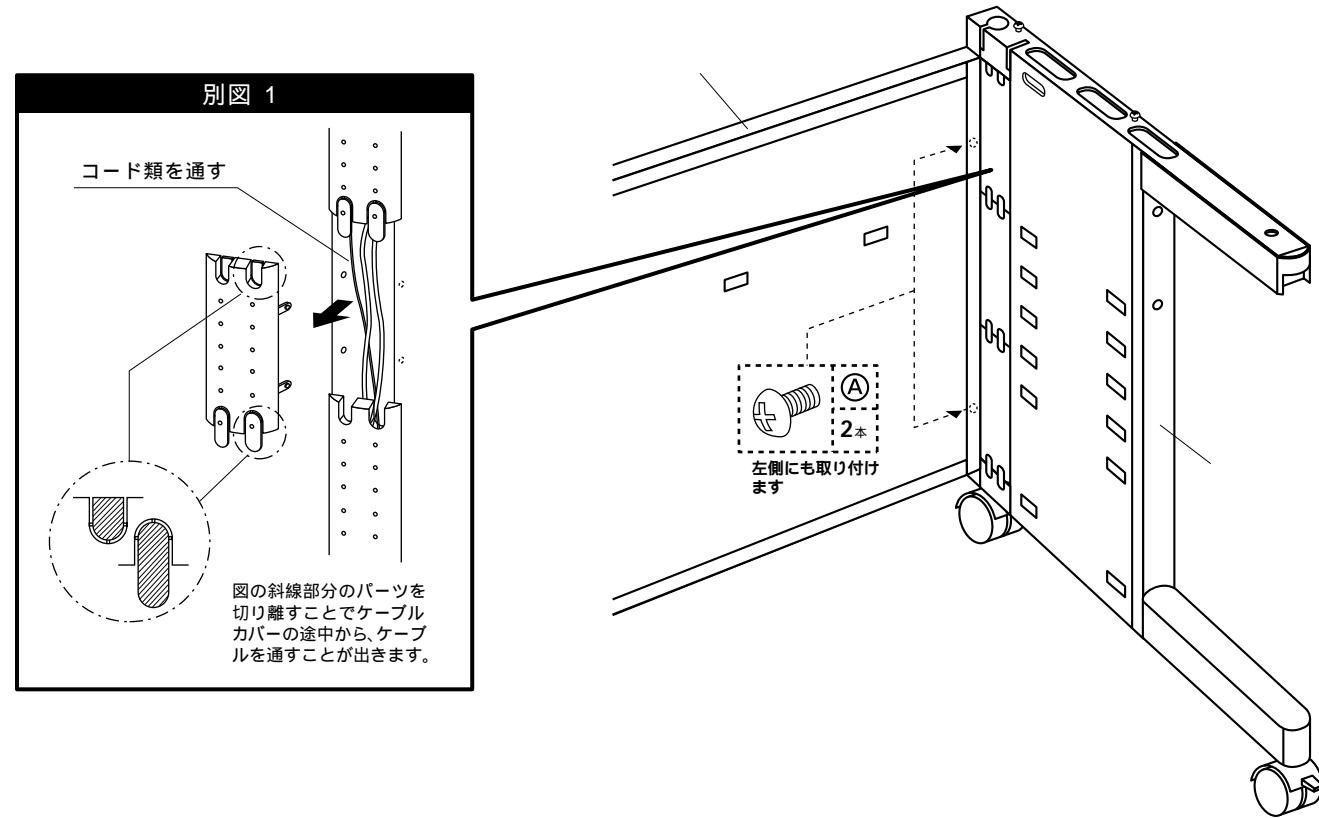
本製品はロックダウン式家具です。必ず組立手順、組立上の注意事項等の指示に従って組立を行って下さい。

使用する工具及び、ご用意いただくもの .....

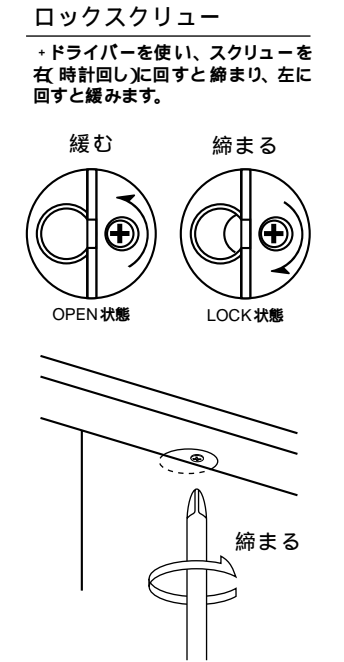
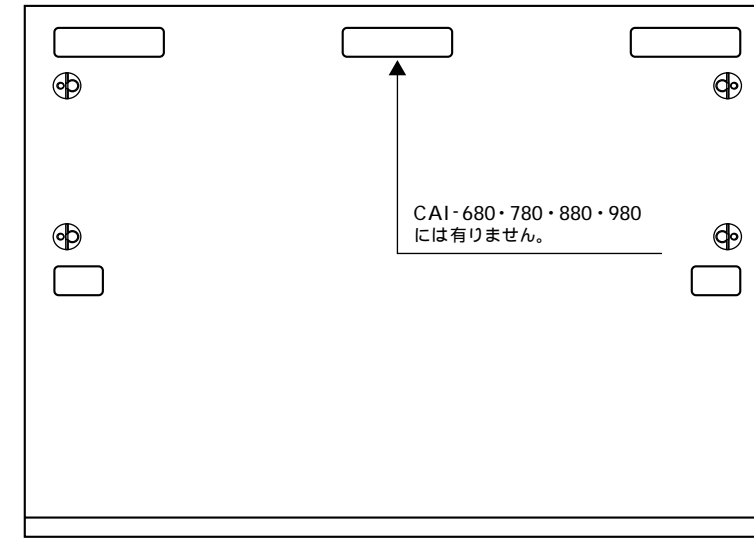
軍手

ドライバー

- 1** 支柱(右)に、バックパネルをボルトAで取り付け仮締めます。  
左側も同様に支柱(左)に、バックパネルをボルトAで取り付け仮締めます。

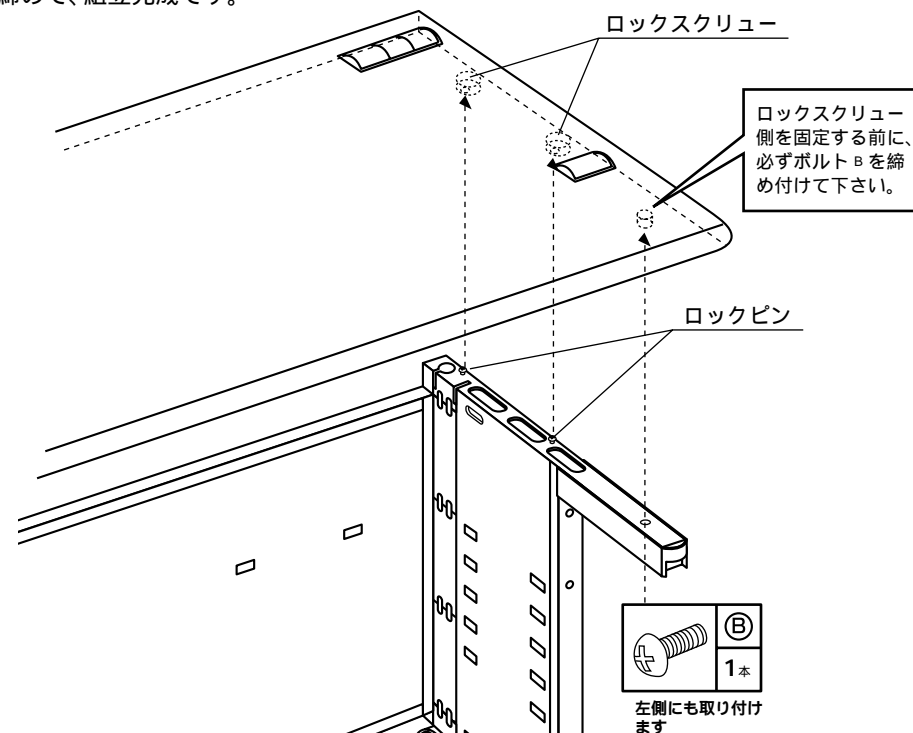


- 2** 天板の裏面には、ロックスクリューが4ヶ所付いています。ロックスクリューが「OPEN」の状態になっているか確認してください。



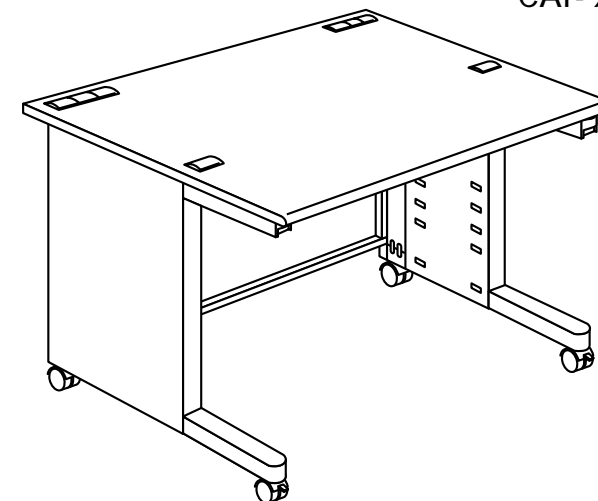
【天板裏面】

- 3** 組み立てた支柱部分に天板を乗せます。この時、左右支柱にある4本のロックピンが、天板裏面にあるロックスクリューの穴に収まるようにします。  
左右の支柱と天板をボルトBで固定します。  
ロックピンがすべて穴に収まっているのを確認してから、4カ所のロックスクリューを回して固定します。(前項2を参照)(ロックスクリューのネジが回りにくい時はロックピンをゆるめて長さを調節して下さい。)  
すべてのボルトを締め、組立完成です。



## 完成図

CAI-980 完成図



CAI-1280 完成図

